

**大学等連携交流拠点における
Concept Book**

はじめに

さんセンタープラザをどんなビルにしよう。
ビルに集まって欲しい人はどんな人だろうか。

このビルに、三宮を、神戸市を、日本を支える存在に
なってほしい。

そんな想いを込めて交流拠点の
コンセプトブックを創りました。



目次

Chapter1. 施設コンセプト

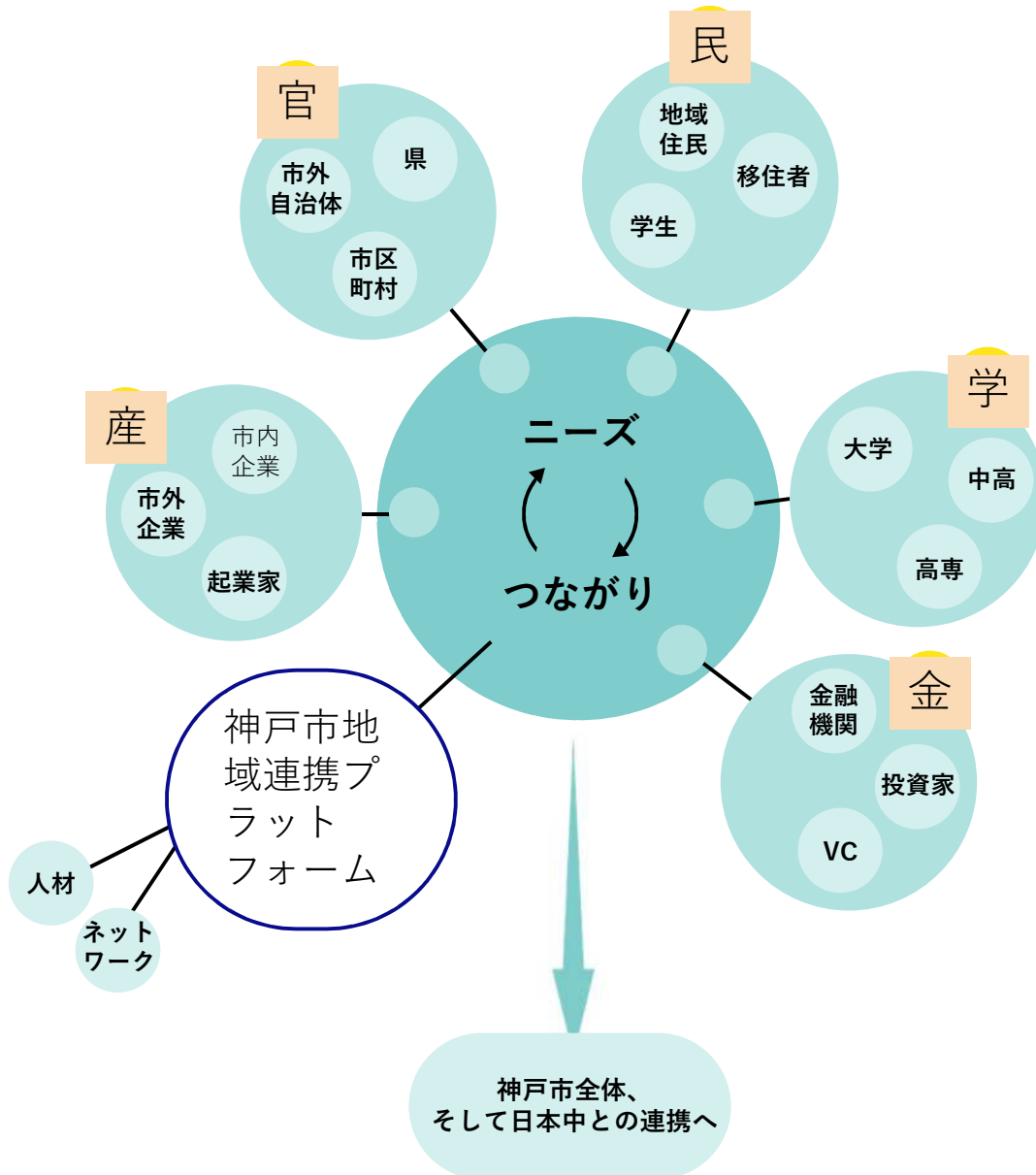
Chapter2. 拠点の活用



施設コンセプト



CONCEPT



地域から想いが集まり、そして必要な仲間と繋がる結節点に。

「こんなことをしたい」「こんなことに困っている」そんな想いの共有をきっかけに人と人は繋がっていきます。

ここでは、学生や企業が気軽に想いを、悩みを共有でき、そして気持ちよく出会いを紡いでいくための場所と仕組みを整えます。

生まれた事例を広め、そしてまた共創の種を集める。

想いが集まり、出会いが生まれ、そして共創を通じてコトが生まれていく。初めは小さな事例でも、共創が共創を呼び、段々と取り組みが大きくなる中で、また新しい共創のタネが生まれていきます。コトを起こし、そして広めるサイクルで、共創の輪を広げます。

三宮から神戸、神戸から日本へ。

私たちは、想いをきっかけに繋がった地域の様々な方々をソーシャルコミュニティと呼んでいます。

ここ三宮から生まれた共創のうねりを、神戸市全体へ、日本全体へどんどん広め、そして巻き込んでいきます。

施設概要

- 施設名 さんセンタープラザ内交流拠点（仮称）
- 住所 〒650-0021
兵庫県神戸市中央区三宮町2丁目11-11番1
- アクセス JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神・地下鉄・
ポートライナー「三宮」駅より徒歩約5分
- 専用駐車場 サンセンタープラザ駐車場
- 営業時間 未定
- 席数 未定
- 施設環境 未定

SPACE

「ニーズ」が集まり、 「つながり」が生まれる『結節点』

三宮駅から徒歩5分とロケーション抜群な交流拠点として活動の場を提供。

神戸市内の学生、学生起業家、大学職員などのヘビーユーザーから、地域の企業など幅広い属性の方々を迎え入れるために、多様な利用シーンに合わせたプランを提供。

様々な「ニーズ」が生まれ、重なり、「つながり」が実る結節点をめざします。



定期的なイベントを通じたコミュニティ形成



都心三宮の立地を活かした
交流を生み出し、創造へつなげていく施設



交流スペース



会議室



イベント

拠点の活用



拠点の考え方

交流拠点としての提供価値

目的

利用者の交流を促し、プロジェクト等の活動を育む。
学生や市民へのスキル醸成や職業選択の幅の拡大を狙う。

(例)

利用者



市内企業



神戸市に住む
ビジネスパーソン



神戸市の大学生
その他学生



大学教職員

等

特徴

間口を広く構え、多様な属性の利用者を受け入れる。共創を育むためのプロジェクトを通じ、利用者同士が新しい価値を生むサポートを行う。

2層に分けた交流促進

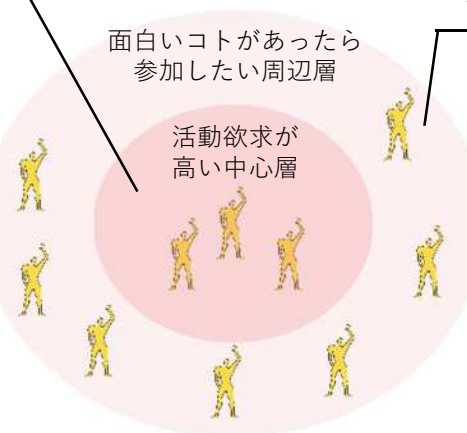
プロジェクトメンバー

共通する情熱を持ち、プロジェクトのために定期的に交流する層。



面白いコトがあったら
参加したい周辺層

活動欲求が
高い中心層



フォロワー層の獲得

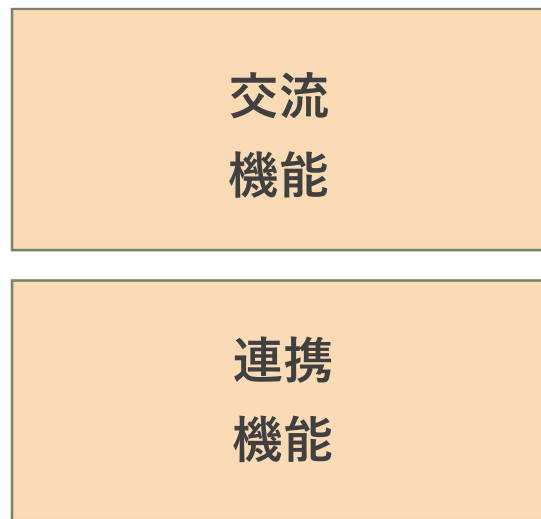
興味や関心にそって参加したりしなかったりする層。



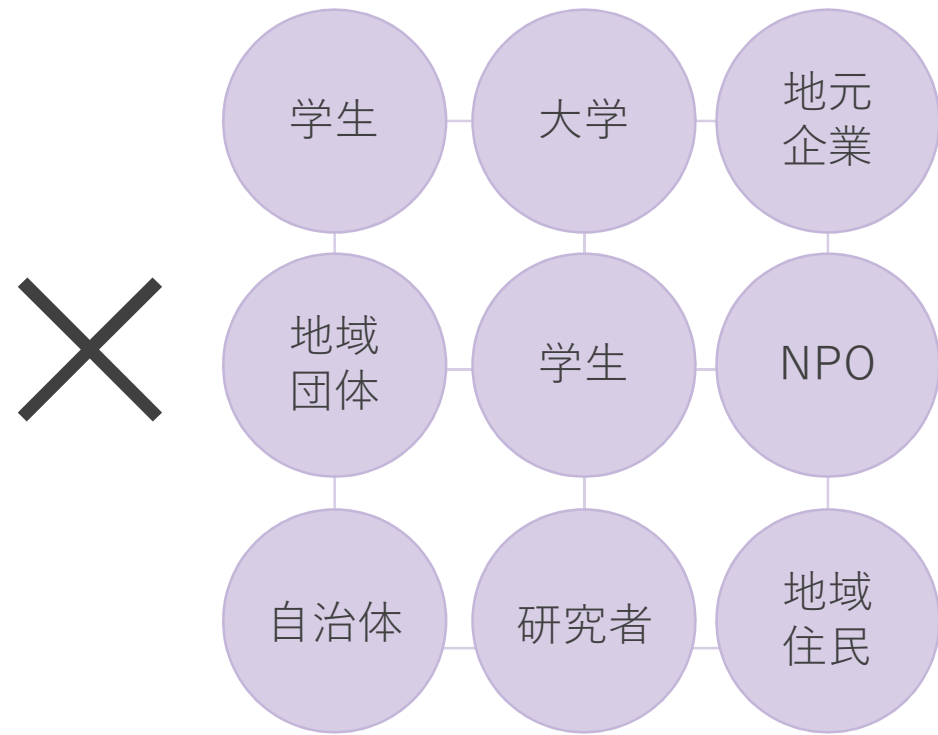
活動欲求が高い層だけを集めても、選民的なコミュニティになり、“共創”は起こりにくい。
多様な背景をもつ利用者が本当の意味で交流し、新しいコトを起こすには、フォロワー層も含めた大きな枠組みで交流を生み出す必要がある。

拠点で実施されるプロジェクト（想定）

施設が果たす役割/機能



巻き込みたいステークホルダーの属性



あらゆる属性同士の交わりを実現するコミュニティ施策展開し、
本拠点を三宮における交流の結節点にしていく

プロジェクト例（地元大学進学・編入）

掛け合わせ



訴求ニーズ

“他の大学等での取り組みを知る機会の提供や、先端的な取り組みをしたい”

イベントイメージ

相互単位互換型プログラム
所属大学に学籍を置きながら、交流拠点で行われるプログラム、カリキュラムを通じて、所属大学と受入大学両方で並行して科目履修ができる

Points-

- ✓他大学の学生との交流につながる
- ✓教育内容の充実と質の向上につながる



“偏差値だけでは測れない地元の大学の魅力を発掘したい”








地元大学の魅力発掘プログラム

普段から大学進学前の受験に専念する高校生等と接する機会を持つ学習塾の講師に対し、地元の大学の偏差値レベルだけではない大学の魅力を共有するプログラム

Points-

- ✓企業就職率やその大学でしかない研究機材、特定の教授など、偏差値以外の地元大学の魅力を知ってもらう機会に
- ✓それによる学生の地元大学進学の後押しのお機会創出に
- ✓大学側も強みを生かし何かに特化した探求型の取り組みの推進に繋がる

プロジェクト例（地域貢献）

掛け合わせ	訴求ニーズ	イベントイメージ	
 ×  大学 社会人 ×  企業	“仕事で求められる能力を磨き続けていくために、特定の分野の学びを深めたい”	<u>リカレントプログラム</u> 社会人の教育の機会として、当該施設を利用した学びなおしの機会を提供する定期プログラム	<u>Points-</u> <ul style="list-style-type: none">✓学びなおしの機会を求める社会人の集まる場になる✓大学側は企業や社会人がどのような学びを求めているのか、価値に繋がるのか常に最新の生の声を聞くことができる
 ×  地元企業 大学生 大学院生	“研究開発を進めた中での成果をもっと地域のために活用していきたい”	<u>学生発表会</u> 学生が研究室やゼミ等での成果を地域企業や市民の方々に発表する場。研究してきたノウハウを実務に活かしたり、地元企業のR&Dの部門を中心にマッチングするなどの効果を狙う。	<u>Points-</u> <ul style="list-style-type: none">✓研究開発での行き詰まりの際の新たなノウハウの取得や、将来的な採用に向けた人材発掘に繋がる✓研究者は社会のニーズを把握し、実務的に研究ノウハウを生かす場ができる
 ×  市内大学 行政	“地域の課題を自ら主体的に解決できる人材を育てたい”	<u>地域人材育成カリキュラム</u> 地域社会（主に行政）との連携をしながら、地域のニーズにあわせた連携開設科目を設置し、地域活性化人材を育成していくプログラム	<u>Points-</u> <ul style="list-style-type: none">✓主に行政が中心となりつつ、行政のみならず、産官学の連携により、地域ニーズの解決につながるためのプログラムを構築していく

まとめ（期待できる効果）

対象者

期待できる効果

大学

入学者への地元大学進学に向けたアピールの場になる。
研究や教育カリキュラム等の資源の共有化を図る。

大学生

拠点を利用することで効率的に他大学との交流や、自分の大学だけでは体験できないカリキュラムの受講ができる。

中高生

地元の大学の魅力を知り、将来設計に向けた選択肢の幅が広がる。

対象者

期待できる効果

地元企業

将来性のある学生の採用活動の場や、学生をターゲットとしたマーケティング活動の場になる。

社会人

リカレントプログラムにより、業務や転職等に向けたスキルアップに取り組める。

自治体

関係人口・交流人口の拡大や、拠点を中心とした賑わいの創出につながる。